

市民アンケート確定値 平成27年 8 月末現在

資料 1

< 食の安全・安心の確保 >

全て市民アンケート結果により算出。

H24年度比較 目標値比較

項目	H24年度	確定値	目標値	増減	到達度
「残留農薬」について不安を感じる市民の割合	55.7%	44.4%	50%	11.3減	↑
「食品添加物」について不安を感じる市民の割合	63.3%	54.1%	50%	9.2減	↗
「食品の不正（偽装表示）」について不安を感じる市民の割合	51.6%	55.3%	40%	3.7増	↘
「輸入食品」について不安を感じる市民の割合	65.2%	56.6%	50%	8.6減	↗
食品の安全性や食品衛生に関する活動に参加している市民の割合	8.9%	6.5%	15%	2.4減	↘
食品を購入するたびに表示を確認している市民の割合	40.2%	42.3%	55%	2.1増	↗
食品について安全性が高まってきていると感じている市民の割合		59.1%	50%		↑
食事・食品等に関する正しい知識や情報を得ようと努めている市民の割合		61.3%	75%		
食の安全性に関する知識があると思う市民の割合	49.6%	62.6%	60%	13.0増	↑

平成24年度比	矢印
目標値超	↑
上昇	↗
維持	→
下降	↘

今回のアンケートのライフステージごとの集計

No.	カテゴリー	n	%	
1	高校生期	78	8.6	15～17才
2	青年期	100	11.0	18～24才
3	壮年期	131	14.4	25～44才
4	中年期	222	24.4	45～64才
5	高齢期	377	41.5	65才以上
	全体	908	100.0	